
参考資料2

『処女でないマリア』
所収作品19編の梗概

野中 葉

1 イスラーム教徒になりたいベイビ

Baby Ingin Masuk Islam

内 容 あるキヤイ（インドネシア、特にジャワでイスラーム指導者や学者を指す）が主人公。豚にイスラーム教徒になりたいと懇願される。ウラマーたちの評議会で豚の改宗を許すかを審議。

主 人 公 男 キヤイ・フィクリ

風刺、批判の対象 ウラマーの権威

2 金曜の昼の悲劇

Tragedi Jumat Siang

内 容 金曜礼拝に行く人たちの混雑で仕事に遅れる男性アハマドの話。最後に子供を轢いてしまい、不信心だと罵られる。

主 人 公 男 アハマド

風刺、批判の対象 他の活動に配慮しない金曜礼拝

3 ムアッジン殺害計画

Rencana Pembunuhan Sang Muazin

内 容 ナイトクラブの警備員として真夜中まで働く「僕」。家の近くの礼拝所から流れてくる早朝のアザーンの音にいらだち、ムアッジン（礼拝呼びかけ人）殺害計画を立てる。実行を予定していた日にムアッジンが亡くなったという知らせが入り、驚いた僕も風呂場で足を滑らせて…

主 人 公 男 「僕」

風刺、批判の対象 大音量化するアザーン

4 天使の質問 Pertanyaan Malaikat

内 容 若くして亡くなったサスマタ。死に備え、イスラームやアラビア語を勉強してきた。天使に現世での事柄を問いただされ、近所の貧者や別の信徒に関心を払ってこなかったことを咎められる。

主 人 公 女 サスマタ

風刺、批判の対象 独りよがりなイスラーム理解。貧困者や別の宗教への配慮のなさ。土着文化の軽視。

5 ひれ伏しの跡(1) Tanda Bekas Sujud (1)

内 容 アビックは、ラマダーン月に開けている食堂を仲間と取り締まるイスラームグループに所属。額に礼拝の跡がつくことを喜ぶが、それがどんどん増えてしまう。

主 人 公 男 アビック

風刺、批判の対象 ラマダーン月のイスラーム急進派の取り締まり

6 顔をなくした女 Perempuan Yang Kehilangan Wajahnya

内 容 夫の求めに応じてニカーブを着用したアニーサは、ある日突然、鼻、唇など顔のパーツを次々に失っていく。

主 人 公 女 アニーサ

風刺、批判の対象 ニカーブの着用。夫を喜ばせる妻という役割

7 妖精とのポリガミー Poligami Dengan Peri

内 容 子どもはいないが仲の良い結婚7年目のアニーサと「僕」。アニーサが、「僕」に二人目の妻を迎えてほしいと依頼。それは妖精（peri）との結婚だった。アニーサは、小さい頃から見えないものが見えてきたことを「僕」に告白。大人になるにつれ見えなくなったが、一人の妖精だけはずっと彼女の友達だった。

主 人 公 男 「僕」

風刺、批判の対象 一夫多妻

8 天女への嫉妬 Cemburu Pada Bidadari

内 容 アニーサとハサンの夫婦は、結婚6年目で、まだ子供はいない。ハサンが「天国の天女たち」という本を読んでいることを知り、アニーサは天女（bidadari）に嫉妬する。ハサンが熱心に礼拝したり、クルアーンを読んだり、天国に行きたいと願うのは、天女に会いたからだとハサンを非難。本をハサンに勧めたのは、親友のイフサン。イスラーム指導者で、イスラームの道に生きる。ハサンはイフサンに「天女と結婚しに行こう」と誘われるが、実際それは、自爆テロを実行することだった。

主 人 公 男女 アニーサとハサンの夫婦

風刺、批判の対象 天女への男性（特に過激派グループ）の期待。

9 待合室 Ruang Tunggu

内 容 72人の天女と「結婚」したロフマンの話。大晦日に自爆テロを実行し、死後の世界で天女が来てくれることを願っていたが、広い部屋に一人で椅子に座って待たされる。天女に似つかない煙草をふかす女性が登場し、天女は決して来ないことを告げる。

主 人 公 男 ロフマン

風刺、批判の対象 自爆テロ

10 悪魔の早期退職 Iblis Pensiun Dini

内 容 悪魔の歴史の中で最も優れた5つ星悪魔のルシファーが早期退職を申し出る。理由は、近年に至り、仕事がとても容易くなったこと。人間たちは、いとも簡単に殺し合い、戦争を引き起こし、人種や宗教、性別の違いによって争う。もはや仕事にやりがいを感じられず、つまらなくなった。そして後継者も育てている。3人の裁判官が下した結論は、その申し出を受入れる、ただし人間界に送るというもの。人間になり、自分が育てた後輩たちがきちんと仕事をするか見届けろという結論。人間界でルシファーは、多くの信奉者を抱えるキヤイとなった。

主 人 公 悪魔 ルシファー

風刺、批判の対象 人間の悪行。イスラーム権威への無批判な従属。

11 二人の友人の会話 Percakapan Sepasang Kawan

内 容 ヤシルとヤミンという親友の会話。ヤミンが読んでいるイスラームの本について。天国の天女が古き良き女性のおしとやかに描かれていることに対し、ヤシルは「現在は、もっと大胆で、一緒に議論できるような女性の方がいいな」。天女が白い肌だという描写に対し「白人至上主義だね、茶色や黄色や黒人の天女はいないのか」。肉付きのいい胸元という描写に対し、「シリコンを入れてるのか」。天国では、男性は皆30歳だという描写に対し「俺らより10歳年上だな。今のまま若い方がいいな」などと語る。

主 人 公 男 ヤシルとヤミン

風刺、批判の対象 天女の描写

12 私はあなたの愛 Ana Al Hubb

内 容 尊敬を集める若いキヤイが主宰するプサントレンに博士論文の調査のために一時滞在した「僕」。イギリスで大学院に通うが、毎日夢にキヤイが出てきて、「僕」を呼ぶ。何かに導かれるように「僕」がプサントレンに戻り、彼に謁見すると、彼から「私の中の女性があなたに恋をしている」と告げられる。

主 人 公 男 「僕」

風刺、批判の対象 イスラームにおける同性愛者に対する非難。

13 誤植 Typo

内 容 アイニという名の主人公。幼い頃から成績優秀な優等生だったが、ズルと結婚し、男子4人が生まれ忙しい母になった。アイニという名ではなく、ズル婦人、ユスフのママなどと呼ばれるようになった。本当は女の子がほしかった。女の子が生まれたら、自分で名前をつけたかった。

主 人 公 女 アイニ

風刺、批判の対象 良いとされる主婦像

14 ひれ伏しの跡(2) Tanda Bekas Sujud (2)

内 容 5の続編。アビックは、イードだけれど、顔に沢山のほくろが出来ているので、実家に帰らず、下宿に一人残る。寂しい気持ちで、近所の犬が鳴くのを聞く。犬は不浄な生き物だが、留守の家に置いておかれた犬が可哀そうで、留守宅の庭に入り、犬に食べ物と飲み物を与える。イードの休暇中、近所の犬の世話にいそしむアビックの顔からは、ほくろが消えていく。

主 人 公 男 アビック

風刺、批判の対象 弱者を助けることを忘れたイスラーム教徒たち

15 天使の休暇 Malaikat Cuti

内 容 天使（アッ=ダム）が、任務を外れたいと言う。人間の悪行を見ると、涙を流す任務を負うが、最近の人間たちは、悪さをしすぎるので、涙を流しすぎて疲れたと言う。人間の行為を書きつける役の2人の天使も、アッ=ダムに付き添って休暇を取ることにした。人間たちはFacebookに自らの善い行いも悪い行いも投稿しているので、3人の天使たちは休暇中でも、スクリーンを見ているだけで任務を果たせる。しかし、FBにアップロードされた内容は、ただ単に自分を良く見せようとするものが多いことに気づく。

主 人 公 天使 アッ=ダム

風刺、批判の対象 人間たちの虚飾や悪行。SNSの乱用。

16 アル=カダルのライラ Layla Al Qadar

内 容 ある宗教（Al-Qadar）のリーダーになった元女性歌手ライラの話。主人公は、ジャーナリスト。この宗教が、異端だとされて襲撃されたのを取材している。イスラームを侮辱したとして逮捕される可能性もあるライラだが、記者たちは、彼女の魅力に惹かれていく。

主 人 公 男「僕」

風刺、批判の対象 「異端」イスラームへの攻撃。

17 天国への到着

Tiba di Surga

内 容

65歳のアブドゥッラー。病気で重篤な中、天国に行った夢を見る。最初の妻のハニファに会う。彼女は、踊っていた。小さい時から踊りが好きで得意だったが、両親に踊ることを止められ、アブドゥッラーも結婚後は、彼女の両親と同じことを言って止めた。ヒジャーブもつけていなかった。彼は、ハニファがヒジャーブをつけていないのに天国に来られたことに驚く。さらに進むと、ゲイのカップルに遭遇。彼はものすごく驚いた。天国にゲイカップルがいるなんて。

主 人 公

男 アブドゥッラー

風刺、批判の対象

ヒジャーブ着用礼讃、踊りの禁止や同性愛者への非難。

18 処女でないマリア

Bukan Perawan Maria

内 容

男性との交わりなく妊娠するマリア。聖母マリアと自分を比較し、悩む。

主 人 公

女 マリア

風刺、批判の対象

処女至上主義。婚外妊娠、シングルマザーへの風当たり。預言者＝男性という認識。

19 アッラーの徴が…（口にはしにくい場所に…）

Lafaz 411 Pada.. (Saya Tidak Tega Menyebutnya)

内 容

アッラーの徴（Lafaz）が、まだ幼児の子供（イムラン）の排泄物に出た夫婦（マンスールとハミダ）の物語。Lafazを信じ、崇める現代人を風刺。

主 人 公

男女 マンスールとハミダの夫婦

風刺、批判の対象

Lafazの奇跡を信じる風潮。それを利用する人々。